

新たな生涯学習の発信！ 「第47回只見町文化祭」開催



▲開館式でテープカットを行う菅家町長（中右）、齋藤邦夫議長（中左）、飯塚恒夫文化協会長（右）、角田行雄教育委員長（左）



▲生涯学習事業の取り組みを紹介したメインコーナー



▲「私たちの自慢のごはんコンテスト」入賞者の皆さん

11月3～4日、只見町文化祭実行委員会が主催する「第47回只見町文化祭」が今年4月に新築となった只見振興センターを会場に開催され、2日間で約2000名が来場しました。

― 私たちの自慢の

ごはんコンテスト表彰―

開館式では、町主催の「私たちの自慢のごはんコンテスト」の表彰式が行われ、町内の小学生の入賞者14名のうち、9名の方が出席し、菅家町長などから賞状を受け取りました。入賞者の作品は文化祭の「健康づくりコーナー」で紹介されました。また、同コーナーには、県主催の「ふくしまっ子ごはんコンテスト」小学生学年の部で最優秀賞に輝いた大東咲来さんの作品も並びました。

― メインコーナー ―

今年の文化祭は「新たな生涯学習の発信」をテーマに、メインコーナーでは「英語でミュージカル」、「ドローン体験」、「ジャズ体験」などの教育委員会が推進する生涯学習事業が紹介されました。また、同コーナーでは国際品評会のひとつ、イギリスの



▲大人気だった只見線コーナー



▲朝日小学生2年生と昔ばなしを語る会の皆さんが「昔ばなし」を披露した民話茶屋



▲ダルマやヨーヨーなどの絵付け体験をする子どもたち



▲人材育成第8期生「チャレンジふるさとクッキング」による笹巻き体験



▲生涯学習の取り組みにより誕生した「ねっか」を紹介する馬場由人さん



▲つる細工体験でくみみのストラップを作った参加者の皆さん



▲おいしいお茶の点て方を披露した喜楽会と高校生の皆さん



▲守備やバッティングなどの技術指導のほか野球の楽しさを学んだ野球教室

「IWSC2017」で銀賞に輝いた米焼酎「ねっか」を製造する「合同会社ねっか」の、生涯学習から始まった起業までの取り組みなどが紹介されました。

― 多彩な取組みを
紹介した各コーナー ―

会場では、「絵画・書・俳句・短歌」などの作品展示のほか、只見高校のPRコーナー、JR只見線応援コーナーなどが設けられたほか、つる細工やビーズ細工の体験コーナーも人気を集めました。また、人材育成第8期生による「アレンジ郷土料理」の発表、そして朝日小学校2年生5名と昔ばなしを語る会の皆さんによる「昔ばなし・民話茶屋」が行われました。別会場の町下野球場では、宮城県東北高校で甲子園に出場し、現在は指導者として活躍されている早坂貴光さんと福田正文さんによる「野球教室」が開かれ、只見小学校体育館では「カラーリング」という室内カーリング体験が実施され、多くの参加者で賑わいました。